

令和7年度

田無小学校

地域とともにある学校づくり
第4学年

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「ともに生きる」
(活動名)

ねらい： 共生社会について、田無地域に住む様々な人との交流や車いす体験を通して、みんなが住みやすい社会にするために自分ができることに気づき、これからの生き方について考える。

【9月25日】

特別支援学級の児童と遠足で一緒に行動をしました。遠足の前には、特別支援学級の教員が障がい者理解の授業を行いました。人それぞれ得意なことと苦手なことがある中で、認めあって生活することが大切であると学びました。



【2学期】

校内だけでなく、社会には様々な人がいることを地域に住む人との交流を通して学びました。視覚障がい、聴覚障がい、在日外国人、点訳の会の方と交流を行いました。

様々な方々との交流を通して、「共生」とは、お互いの個性を理解し、苦手な部分を補完し合うことであると気づきました。

車いす体験も行いました。校内で車いすの操作の難しさ、乗る人の怖さを体感しました。その経験を基に校外で地域のバリアフリーを探す活動も行いました。身近にある「ともに生きる」ためのヒントに気づきました。



【1月24日】

これまでの学習のまとめを保護者の方に発表しました。多くの人に学習の成果を伝えることが、「ともに生きる」ことに繋がるのではないかと更なる課題を発見している様子でした。



まとめ

単元を通して「みんなが住みやすい社会とはどんな社会だろう」ということについて、考えることができました。この学習をきっかけに、これからの生活の中で共生社会に気づき、行動することを期待します。